

特集 想いをつなぐ 空家再生みらいづくり隊員



全国的に空家が増加し、適切に管理されていない空家が地域に深刻な影響を及ぼすなど大きな社会問題となっている中、市内における空家戸数は1,154戸(令和6年度調査時点)となっており、老朽化した空家が増加しています。

そこで、市では昨年、空家対策やさらなる空家の利活用を進めるため、**地域の空家を活用してみらいを拓く「空家再生みらいづくり隊員」**を募集しました。

そして、昨年10月に隊員として委嘱を受けた大須賀さんと小野さん。東京から移住したお二人は、現在滋賀・まいばら空家対策会とともに空家バンク事業に従事しています。今回は、米原市の空家再生の未来を担っていくお二人に、今後取り組んでいきたいことや、隊員として大切にしていることなど、たっぷりとお話を伺いました。

伊吹山テレビは
こちら(2月27日号)▶



撮影場所:滋賀・まいばら空家対策会

大須賀 春陽さん(写真左)…1978年7月生まれ。東京都出身。自然豊かな地域で育ててみたいと移住先を探していたところ、米原市の隊員募集を知り応募。マンション管理業の経験を生かし空家対策や人口減少問題に貢献したいと語る。

小野 新平さん(写真右)…1977年10月生まれ。東京都出身。全国的な空家問題に強く関心を寄せており、長年携わったリユース業界で培った「ものを大切に」する価値観を空家問題に生かしたいと、今回応募する。

米原市に来て4カ月 どのように地域に貢献するか

小野 私たちは昨年の10月に米原市の空家再生みらいづくり隊員として委嘱を受けました。米原市に来て約4カ月が経ちましたが、空家の物件登録、地域の方や空家を探しておられる方との面談など、まずは空家バンクの基本となる業務をしっかり和習得できるように日々頑張っています。そんな中で、これから先やりたいことなど、お互いに今後の活動について構想を練りながら意見を出しあう時間をつくっています。こんなことをやりたい、あんなことをやりたいと話しているのと、けっこう二人で盛り上がりますね。

大須賀 そつです。私たちは二人とも東京からやってきて、「自分たちがこの地域にどんな風に関与できるか」という意識は常に持っています。せつかく東京から来たのだから、何か都会の良いところをこちらに取り入れたいとお互い考えていたり、そついった考え方で共感できる部分がたくさんあるので、これから先二人でどんなことができるのか、とても楽しみです。



委嘱状交付式にて

「住み続けたい」と思える まちづくりを尽力したい

小野 これから空家の有効活用を進めていくには、空家の所有者さんや、空家を利用したいと思っている方にたくさん出会うことが大切だと思っています。そついう意味で、まずは誰もが利用しやすい空家バンクをつつといていくことに注力したいと考えています。

大須賀 空家の処分の仕方に困っている方や、必要としてくれる人に引き継いで活用してもらいたい方など、空家のことで悩んでいる方はたくさんおられると思います。相談したいけれど、なかなか一歩踏み出せない方も、中にはいらつしゃると思います。そついった方に対してもしっかりと寄り添えるように、地域から信頼される、誰もが気軽に訪れることができる窓口をつくっていききたいです。

小野 空家を通じた地域の活性化という観点では、都市部など他の地域から人を米原に呼んでくることも、もちろん重要です。でもそれだけではなく、この地域に暮らす人たちが「これからも住み続けたい」と思えるようなまちづくりが大切で、そのような地域をつつといていくことに、自分も尽力していきたいと思っています。

「もの」ではなく、 人の「想い」をつなぐ

大須賀 空家問題というのは本当に千差万別です。所有者さんの想いもそれぞれに違いますし、条件も多様なので、ひとつひとつ全力で、真摯に向きあっていくしかないと思います。こちらに着任してまだ日が浅く、分からないことも多いですが、なんとか解決していける方法はないかと考えることが多いですね。

小野 空家は単純な「もの」ではなくて、そこには人の暮らしがあつて、地域との繋がりがあつてあります。今はもう誰も住んでいない空家だったとしても、そのような人の想いや、地域との繋がりを、私たちは大切に紡いでいかなければならないと思っています。所有者さんや利用者さんの想いに丁寧に向きあい、しっかりと信頼関係を築いていくことを大切に、これからも日々取り組んでいきたいです。

大須賀 空家で困っている方は皆さんそれぞれに悩みを抱えているけれど、なかなか正直に全て打ち明けるのは難しいと思うんです。ただ、できるだけ安心してお話いただけるように、まずは自分からの心の垣根を取り払って、相談者さんの心に寄り添えるよう努力していきたいと思っています。

小野 私は、米原の水の美味しさに毎日感動しています。朝起きて冷たい水を一杯飲むだけで心身が生き返るといふか、澄んだ水の心地良さを、日々ありがたく感じています。

空家に関するご相談は
滋賀・まいばら空家対策会
☎56-1034へ

ウェブサイトはこちら▲
(恋する空家プロジェクト)

お気軽にご連絡ください!

空家対策支援メニューは
次ページへ!

空家対策に関する 支援制度をご紹介します

問 市 シティセールス課 ☎53-5140 FAX 53-5139



◀空家バンク利活用 促進奨励金

空家バンクを利活用いただいた方に奨励金を交付します。

対象

空家バンクに登録した空家の所有者等

奨励金額

バンクへの登録: **1万円**
登録物件の成約: **3万円**



空家に関すること
でお困りの方は、ぜひ一
度お問合せください!

市では、空家の有効活用や解体
等に対する様々な支援メニュー
を用意しています!



◀空家地域活性化 活用補助金

空家を地域活性化につながる施設に改修する工事に要した費用の一部を補助します。

対象

市内に存する空家

対象事業

市内事業者による100万円以上の空家の
地域活性化施設への改修工事

補助金額

上限100万円(補助率2/3)



◀びわ湖の素・米原 空家リフォーム補助金

空家を活用した移住定住を促進するため、空家のリフォーム工事にかかる費用の一部を支援します。

対象

市民となる予定の方が、米原市空家バンクを通じて取得または賃借した空家

対象事業

市内事業者による100万円以上の空家
リフォーム工事

補助金額

上限100万円(補助率2/3)



◀空家等除却補助金

空家の除却工事にかかる費用の一部を支援します。

対象

昭和56年5月31日以前に建築された居住用の住宅のうち、1年以上居住されていないもの

対象事業

市内事業者の施工による解体撤去工事

補助金額

上限20万円(補助率1/3)



◀地域ぐるみ 空家対策支援補助金

地域内の空家に対して、安全・衛生を確保することや適正管理・有効活用を促進するための取り組みに対し、補助を行います。

対象 自治会

対象事業

蜂等の害虫駆除、弁護士等への相談料、相続人調査、空家バンクサポーターの活動 ほか

補助金額

上限20万円(補助率4/5)

※上記は令和7年度の支援内容です。すでに受付を終了しているものもありますのでご了承ください。
なお、令和8年度の実施予定は個別にお問合わせください。

▶このほか、市の指定する空家等管理活用支援法人が実施する無料セミナーや出前講座も受付中です!
詳しくは市シティセールス課(☎53-5140)までお問合わせください。

出前講座の申込等
詳しくはこちら
(市公式ウェブサイト)▶

